

2022年4月からの不妊治療の保険適用料金表

令和4年2月28日作成

一般不妊治療・人工授精

項目	3割負担(円)	内容	備考
一般不妊治療管理料	750円	一般不妊治療を計画管理する	
人工授精	5,460円	子宮の中に精子を注入する方法	次のいずれかに該当する場合 ・精子・精液の量的・質的異常 ・射精障害・性交障害 ・精子一頭管粘液不適合 ・機能性不妊

ART

項目	3割負担(円)	内容	備考
生殖補助医療料 生殖補助管理料1	900円	生殖補助医療を計画管理する 管理料1の条件 1. 看護師心理士などによる相談 2. 保健医療サービス、福祉サービスとの連携 3. それらの情報収集	・女性の年齢が43歳未満である場合に限る。 ・患者とパートナーが婚姻関係にあること。 ・患者とパートナーが治療の結果出生した子について認知を行う意向があること。

AMH

項目	3割負担(円)	内容	備考
抗ミュラー管ホルモン(AMH)	1,800円	内分泌学的検査(採血) 卵巣の予備能力の目安	調節卵巣刺激法におけるゴナドトロピン投与量の判断を目的として実施した場合 (ただし、6ヶ月に1回まで)

採卵

※別に薬代が必要です

項目	3割負担(円)	内容	備考
採卵術	1個の場合	卵巣から卵子を回収する手術	・卵管性不妊 ・男性不妊(閉塞性無精子症等) ・機能性不妊 ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合
	2-5個の場合		
	6-9個の場合		
	10個以上の場合		

受精

項目	3割負担(円)	内容	備考	
体外受精・顕微授精管理	体外受精	受精 体外受精のみであれば体外受精のみ。 顕微授精のみであれば顕微授精のみ。	・卵管性不妊 ・男性不妊(閉塞性無精子症等) ・機能性不妊 ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合	
	顕微授精			1個
				2-5個
				6-9個
10個	38,400円			
卵子調整加算	3,000円	顕微授精にて受精卵を作るための卵子活性化処理	当院ではカルシウムイオノフォアを行います	

培養

項目	3割負担(円)	内容	備考
受精卵・胚培養管理料	1個の場合	受精卵から初期胚を作成することを目的とした処置。 初期胚ならこまで。	当該患者及びそのパートナーから採取した卵子及び精子をもちいて作成された初期胚または胚盤胞について培養を行なった場合
	2-5個の場合		
	6-9個の場合		
	10個の場合		
受精卵・胚培養管理料 胚盤胞	1個の場合	胚盤胞に育つように培養する。 胚盤胞にするには上記にこの必要が加算される。	
	2-5個の場合		
	6-9個の場合		
	10個の場合		

胚凍結

項目	3割負担(円)	内容	備考
胚凍結保存 管理料導入時	1個の場合	受精した卵(胚)を最初の1年間凍結保存する。	凍結する受精卵(胚)の数によって費用が異なります。
	2-5個の場合		
	6-9個の場合		
	10個の場合		
胚凍結保存維持管理料	10,500円	受精した卵(胚)を凍結保存を延長。1年間凍結保存をする。	・胚の凍結から1年を経過している場合、当該凍結保存の開始日から起算して3年を限度として1年に1回限り算定。 ・妊娠等により不妊症にかかる治療が中断される場合であって、患者及びそのパートナーの希望により凍結保存を継続する場合にはその費用は患者の負担とする。

胚移植

※別に薬代が必要です

項目	3割負担(円)	内容	備考
胚移植術 新鮮胚移植	22,500円	受精した卵(胚)を子宮の中に戻す	当該患者の治療開始の年齢が40歳未満である場合6回 40歳以上43歳未満3回 (ただし、次の児の妊娠を目的として胚移植を実施した場合には治療開始年齢が40歳未満なら6回、40歳以上43歳未満なら新たに算定可能)
胚移植術 凍結・融解胚移植	36,000円	受精した卵(胚)を子宮の中に戻す	・治療開始年齢が初回胚移植は該当採卵にかかる計画を作成した年齢 ・2回目以降で改めて採卵しないものは移植にかかる計画を作成した年齢 ・2回目以降の移植で改めて採卵する場合には採卵にかかる治療計画を作成した年齢
胚移植術 アシステッドハッチング	3,000円	孵化(受精卵の殻から出ること)を助ける	
胚移植術 高濃度ヒアルロン酸含有培養液	3,000円	着床を助ける	

男性不妊

項目	3割負担(円)	内容	備考
男性不妊	Y染色体微小欠失検査	男性不妊の検査	
	精巣内精子採取術 顕微鏡を用いたもの	73,800円	より細かく精巣から精子をとる手術

採卵に関わる料金シュレーション内容

例1

採卵数7個、体外受精、胚盤胞3個凍結
採卵術 26,100円 + 体外受精 12,600円 + 培養 32,700円 + 胚凍結 21,000円 = 計 92,400円

例2

採卵数10個、顕微授精、胚盤胞6個凍結
採卵術 31,200円 + 顕微授精 38,400円 + 培養 40,500円 + 胚凍結 30,600円 = 計 140,700円

例3

採卵数2個、顕微授精、初期胚1個凍結
採卵術 20,400円 + 顕微授精 20,400円 + 培養 18,000円 + 胚凍結 15,000円 = 計 73,800円

※上記に加えて、診察や薬剤の費用が発生します。

本資料は、2022年2月9日に開催された第516回中央社会保険医療協議会(中央社会保険医療協議会総会)の資料を元に作成しました。今後、変更点がある場合があります

Oak Clinic

医療法人オーク会